

3.11 14:46～

東日本大震災 学校対応の記録



被災から学校再開までの
足跡と教訓を後生に・・・

仙台市立将監小学校

1 緊急対応・避難所運営

[illegible]

15:15	余震続く 雪が降り始める	・児童引渡し開始
15:45 頃	降雪のため、引き渡し箇所変更	①引き渡し箇所 体育館への変更を指示 ・移動 (体育館北側アリーナで引き渡し) ②担任、養護教諭に泣き止まない子などへの、心のケアを指示
16:00 過ぎ	地域避難民受け入れ開始 (引き渡しと並行対応)	①暫定避難所開設準備を指示 ②学年の中で引き渡し対応と、避難所関連対応を状況に応じ分担させる ③移動式ストーブを体育館に搬入指示 (体育館南側アリーナで避難民待機)
16:30 頃	避難民続々と体育館へ	③「このままでは暗くなり、いろいろな準備ができなくなる」との提言があり、次の物資等を体育館へ搬入・準備するよう指示 ・アルファーマイ ・クラッカー ・仮設トイレ2器 ・移動式黒板 ・避難所開設グッズ
17:00 頃	避難民へ毛布配布 * 備蓄物資として ある程度の毛布必要	③毛布・発電機 調達指示 ④教務, ⑤安全主任, ⑤技師(女), 区役所・将監西コミセンへ行き、毛布と発電機調達 ⑤教職員で仮設トイレ組み立て開始
19:00 頃		⑤懐中電灯で照らしながら、女性職員中心に、水でアルファーマイ準備
20:00 頃		⑤アルファーマイ避難民へ配布 ・1パックを2~3人で分け合ってもら ・あまり苦情はない
21:00 過ぎ	浅野貴男さん来校 ガソリン搬入	④発電機準備 発電 ①②職員の時間外業務従事者と家庭へ帰宅者等の対応協議
20:30 頃		①職員招集 今後の職員体制について 時間外業務従事 約2/3 帰宅 約1/3 (母親中心)
夜半		③発電機で起こした電源に携帯の充電する避難民あり、注意、節電協力呼びかける ⑤最終児童(5学年)引渡し完了 (全児童を保護者に返す)
避難民約400人(県営, エトワール(マンション)多い。泉中央駅からの避難民もあり)		

*** 1日目の反省：避難所運営に当たる地域町内会来校者なし。
各町内会長、自治会長への連絡をすべきであった。**

月日	状況	* 反省	対応 ④校長 ⑤教頭 ⑥教務 ⑦事務長 ⑧教職員
3月12日(土)	避難所運営 約300名		⑧職員による避難所運営 ・アルファ米炊き ・ストーブの管理 ・避難民の把握 ・養教を中心に、要介護者、けが人の対応 ・連絡掲示コーナーの設置 ⑤交代制による勤務シフトを教職員に連絡
15:00	給水所開始		⑥給水にきた住民の長蛇の列に対応 ④校長、当初隣同士で挨拶などさせ温かい雰囲気づくり。水がなくなり、ポリタンクを置いて一時帰宅させた。
15:20	支援物資到着		⑧支援物資の仕分け、配布
			
			
			
		*これまで、毎年防災会議を行ってきたが、町内会・自治会が避難所を運営する意識化が十分に図られていなかったと反省。 ・地域連携のあり方、学校が主体ばかりではいけない。	⑥発電機使用のためのガソリン調達 ④浅野さんを通し、連合町内会長、主な町内会長を招集。今後の避難所運営を検討 ・夕刻過ぎから各町内会から派遣される。夜になり依頼された時間に帰る派遣者多い。 ・結局夜は学校職員で運営。
	避難民より天井プレス破損報告あり		④落下懸念箇所を立ち入り禁止ぬするよう職員に指示。 <校長休憩>
21:00	停電復旧 復旧とともに各種警報装置作動 各所から水が噴き出す		⑧職員招集 校内点検、防火扉締め 水道局に連絡 ⑧職員が勤務する度に家族の安否、住居の破損状況、ライフラインの状況、困っていること、勤務可能を確認

* 2日目の反省：避難所運営、特に食料配給の仕方は、近隣避難所との違いあり。来た人皆に配給したため避難民以外も近隣からも集まり長蛇の列。「配給物資は誰に渡すのか」を行政との調整確認も必要と痛感。

月日	状況	* 反省	対応 ④校長 ⑤教頭 ⑥教務 ⑦事務長 ⑧教職員
3月13日(日)	避難所運営 約150名		④校舎被害状況を記録するように、事務長に指示。 ⑦事務長校舎内外を記録として撮影。 
7:00～	給水所運営		④当初、水不足時ポリタンクを置かせたが、かなりの人が駆けつけ、給水順番を列毎に変更。
15:00	市教委体育館視察 体育館が危険で、避難所としては不適合と判断。 避難所閉鎖の指示あり		<教頭休憩>
16:00	給水所運営		④体育館から、南校舎1階への避難所移動指示。 ⑧教職員全員で、移動指示補助。 ④給水所、混乱を受け、教務に整理券作成を指示。 ⑥⑧ A～順にチケット作成。ごまかされそうなアルファベットは避けた。EとF CとG など。
	 その後の東中避難所の様子		④避難民受け入れ調整開始 将監東中に 約20名 将監中央小に 約40名 ⑧と町内会代表 南校舎1階2年教室4教室、昇降口を使用して最後の避難所運営に当たった。

*** 3日目の反省：避難所閉鎖に伴い、移動していただくために、校長が一人一人に寄り添い温かく対応。後日、感謝のことが学校に寄せられた。負担が減り職員も安堵の様子が見られた。**

月日	状況	* 反省	対応 ④校長 ⑤教頭 ⑥教務 ⑦事務長 ⑧教職員
3月14日(月)	避難所運営 約80名		④招集した職員に、車による避難所移動の補助を指示。 ④校舎被害状況を記録するように、事務長に指示。
9:00 11:00	給水所運営 給水所はその後3/19迄		④校長より教頭に、今後の避難所サポートは校長が中心に、給水所運営は教頭が中心に行うよう指示あり。

*** 4日目の反省：給水の時間が読めない。かなりの人が来る。お年寄りも持てない。開始と終了の連絡がない。運搬してきた人がその都度変わり情報も錯綜。掲示等を市にお願い1回目はできたが、人が変わると引き継がれていない状態。結局学校で掲示するなど混乱が見られた。**

*** 職員のガリリン不足、水や電気などライフラインの復旧状態の違い、家庭での地震被害等もあり、勤務態勢は教頭の調査をもとに、それぞれの事情を考慮し設定した。**

2 学校再開，引越し等教育環境の確保・改善を中心にした取組

月 日	内 容
3月14日(月)	・ 下校直前のままだった児童の荷物の整理(P T A作業) ・ 市教委指示により，18日(金)までの休校措置決定 ・ 荷物引き渡し日のお知らせ16日(水)9:00～10:00 以上情報発信(校門掲示，ブログ) ・ 卒業式，修了式を含めた今後の予定の検討 ・ 通信票作成の指示(下書きはほぼすんでおり，直接清書)
3月15日(火)	・ 市教委指示により，23日(水)までの休校措置決定 ・ 全学年，家庭学習用プリント作成 ・ 修了式24日(木)，卒業式25日(金) *場所については，市教委校舎点検を受けて連絡 情報発信(校門掲示，ブログ) 将監東中学校，市民センター，児童センター，中央小に打診
3月16日(水)	・ 荷物引き渡し 校舎の窓から各学年引き渡し
3月18日(金)	・ 市教委学校施設課校舎点検結果が知らされる。 ・ 基礎となる土台，骨組みや梁自体はしっかりしている ・ 付帯設備や壁面の剥落が多数あり。落下物の危険性大 ・ 修復するまで，児童の立ち入り禁止 ・ 結果を受け，校長・教頭・教務で今後の予定を検討
3月19日(土)	・ 東中卒業式， 灯油支給 ， 給水終了
3月22日(火)	・ 今後の予定を公表 ・ 修了式 ①日時：3月24日(木) ②場所：将監小校庭 ③備考：8：20登校 9：40頃下校 ・ 卒業式 ①日時：3月25日(金) ②場所：将監東中体育館 ④卒業生及び卒業生保護者，教職員参加 ・ 離任式 ①日時：3月30日(水) ②場所：将監小校庭 ③備考：8：45登校 9：40頃下校 (新1，3，5年のクラス替えの発表あり) ・ 始業式 未定 ・ 入学式 未定 情報発信(校門掲示，各町内会掲示，ブログ)
3月23日(水)	・ 避難家族 数件(中国国籍者も含む) ・ 保護者の死亡1，祖父母死亡1
3月24日(木)	・ あおぞら修了式 子供との再会，子供同士の再会に安堵 ＜修了式：校長先生の話＞

先生方は、みんなに会えて本当によかったと思っています。
 こわかったね。苦しかったね。でも大丈夫です。
 これからも力を合わせて生きていきましょう。
 今、学校の中に入れない状態ですが、学校は大丈夫です。
 もうすぐ戻ると思います。
 みんなが校舎に入れるように、お役所の人も頑張ってます。
 大人の人も必死に頑張っています。
 みんなの笑顔を早く見たくて頑張っています。
 大人の人も 家族も 周りの人たちも
 みんな見方です。
 そして、大人の人の力になれるのは、あなたたち子どもです。
 大人は子どもたちの笑顔が大好きです。
 みんな、早く心から笑顔になれるように努力しています。
 これ以上悲しいことがおこらないように力を合わせて頑張っています。

学校でしめくくりのお勉強ができなかったね。
 でも、みんなは、もっと大切なことを勉強できたと思います。
 それは、人と力を合わせること 我慢すること
 自然の力の大きさも勉強になりました。
 あまり人間にとってこのような自然の大きさはうれしくないのですが、
 これも1つの勉強です。
 でも、苦しみや悲しみを超えて、こうやって朝がくるのも自然です。
 長い夜、暗い夜はずっと続くわけではありません。
 必ずこうやって朝が来ます。
 力を合わせれば、こうやって太陽をみることができます。
 みんなが力を合わせて頑張り
 みんなが心から笑顔になれることを期待しています。
 家族の人と、周りの人と支え合い
 力を合わせて前に進みましょう。



青空のもと、修了証書の授与



担任からの通信票の手渡し



最後の学級指導



卒業式の歌の練習をする6年生

3月25日(金)

- ・卒業式(将監東中を借用)
 <卒業式:校長式辞より(震災関連分のみ抜粋)>

昨日、修了式の折に在校生のみなさんと一緒に、この大震災で犠牲になられた方々に黙祷を捧げましたね。我々日本人がかつて経験したこともないとんでもない大災害でした。信じられないほどの数多くの人の命が奪われ、町が失われ、人々の心に深い傷跡を残してしまいました。本当に悲しく、そして悔しい出来事でした。しかし、この日本という国は決してこのままではありません。必ず良くなります。今、そのために多くの大人たちが思いの限り力を尽くしています。ただ本当の復興が為されるにはまだまだ長い年月が必要でしょう。今はまだ復興のための力にはなっていない皆さんですが、君たち一人一人の力が必要になる時期がそう遠くない未来に必ず訪れるはずですよ。まもなく始まる中学校生活。その中学校では将来の日本の復興のための大きな力になれるよう様々な知識や経験を身につけてください。私たち大人はみなさんが力をつけて復興に携わってくれることを心待ちにしています。そのためにも、ぜひ中学校生活を有意義に過ごしてほしいと願っています。



中学校をお借りして卒業証書授与



担任の先生と記念写真

3月28日(月)

- ・市教委指示 C ランク被災校
夏休みまで近隣校に一時移転
移転先は校長間で調整のこと
- ・校長、将監中央、将監西、桂に働きかける。

3月29日(火)

- ・上記4校にて調整 将監小は将監中央小に、将監西小は、桂小に移転決定
- ・決定を受け、教頭教室割り振り、引越計画作成

3月30日(水)

- ・離任式



混乱の中でのあおぞら離任式

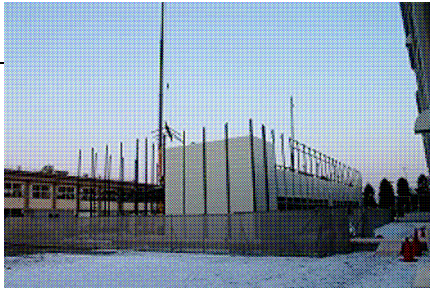
- ・教頭、式後に児童に一時移転の旨を伝える。

- ①学校移転先 将監中央小学校
- ②移転期間 工事完了まで(夏休み中を予定)
- ③始業式 平成23年4月13日(水)

8:25まで将監中央小学校に登校。地区によっては集団登校あり。

	④入学式 平成23年4月13日（水） 13:00～ 将監中央小体育館にて ⑤保護者説明会 4月4日（月）19:00～ （将監中央小体育館） 情報発信（離任式後、お便り、ブログ）
4月1日（金）	引越ボランティアの募集（連合町内会長，浅野さん，日下野さん，ブログ）
4月4日（月）	将監小一時移転に伴う保護者， 地域の方への説明会（約300人参加）→ ・学校施設課からの突然の工期提示 （半年から1年） 
4月5日（火）	引越し準備 （PTA，保護者，地域有志， 卒業生等，約80人） ↓   ← 将監小で 入学式の練 習をする 新2年生
4月6日（水）	引越し（PTA，保護者，地域有志，卒業生等，泉区ボランティア， 中央小職員等約200人）  
4月13日～月末	地区子ども会とPTAと連携し，集団登下校
4月18日（月）	簡易給食開始  

5月11日(水)	復興へ力を合わせて 集団登下校, アメリカからのメッセージ紹介 → インターネット接続作業	
5月13日(金)	指導課ネットワーク工事	
6月1日(月)	完全給食再開 * 950食分 置き場所苦慮	
6月2日(木)	2学年内教室 ローテーション開始	 
6月6日(月)	新特別教室割り当て開始 教室内パーテーション配備 → (1年, 2年, 3年)	
6月13日(月)～	教室配置変更(ローテーション)開始	
6月21日(火)	教室不足に伴う, 中央小事務室引渡し (両校職員作業)	
6月22日(水)	事務室明け渡しによる, 教室ローテーション終了	
6月29日(水)	特別支援教育課による, 特別支援学級, 通級指導教室状況視察	
6月30日(木)	学校施設課より通知 「仮設校舎の設置について」 11月完成仮設校舎(普通教室棟), 2月完成仮設校舎(特別教室棟)	
7月6日(水)	将監小プール開放に向けての, P T A教職員によるプール大掃除	
7月8日(金)	給食搬送法大幅変更(7/4, 7/7 健康教育課, 野村給食 C.とシミュレーション) P T Aによる扇風機搬入(全学級)	
7月20日(水)	仮設校舎建設打合せ	
8月18日(木)	仮設校舎建設開始(東海リース) →	
10月11日(火)	体育館補修開始(ムラテツ) 天井: ブレス全面交換 壁: 亀裂補修 → 床: 底上げ基礎部コンクリート補強, 一部張替	
10月29日(土)	 開校40周年記念運動会(中央小を借用)	
11月1日(火)	仮設校舎引き渡し	

11月5日(土)	中央小・将監小本校舎から仮設校舎への引越し 地域の皆さん  保護者の皆さん  子供ボランティア  学生ボランティア  終了のご苦労様   兵庫県教委より 復興加配として 坪田康宏教諭着任
11月8日(火)	将監小学校への復帰  仮設校舎へ初登校 将監小への復帰を喜ぶ 子供たち 「頑張るぞ。オー」の かけ声とともに 
12月15日(木)	仮設校舎（特別教室棟）建設開始 
2月7日(火)	 子供たちからの「ありがとう」 のメッセージ  大和リースの皆さんからの お返しのメッセージ 
2月29日(水)	将監小本校舎から仮設校舎（特別教室棟）への引越しに向けての梱包 
3月8日(木)	仮設校舎から本校舎への引越し（特別教室棟）
3月12日(月)～	仮設校舎（特別教室棟）での授業開始 

完成した全仮設校舎

(2) 中央小とのかかわり合いを大切にした取組

4月13日(水) 登校初日  中央小のお友達によるお迎え	4月25日(水) 合同避難訓練・合同校庭整備  いざ地震に備え、早期に	4月27日(水) 対面式  共に歌い、共に応援し
6月7日(火) 現職教育「救命救急」合同実施  職員交流も図って	6月20日(月) 協働型学校評価共通目標 あいさつ運動「あいさつし隊」 児童相互活動開始(毎週月曜日) 	7月15日(金) 「しからば&けやきまつり」  児童会行事を共同で開催
7月19日(火) 合同音楽朝会  「世界が一つになるまで」の大合唱	7月19日(火) 6年総合学習相互交流  修学旅行の発表交流	8月30日(火)～ 陸上記録会に向けた合同練習  泉高校陸上部による一緒にの練習
9月14日(金) 仙台市陸上記録会  両校健闘を讃え合っの 友情応援 	10月14日(金) 低学年合同生活科「出前動物園」  一緒に動物とふれあいました	
10月21日(金) 清貴被災校支援コンサート  清貴さんは将監小出身		

10月31日(月)
お別れ会



10月31日(月)
紅白ハナミズキの記念植樹



友情が百年続きますように



11月2日(水)
中央小全校児童によるお見送り



お世話になりました

長蛇の列が
続きました



2 成果と課題

○児童自身の心の成長

- ・ 忍耐力、協調性が形成されつつある。
- ・ 心優しい言動が増えた。
- ・ 仮設校舎に戻ってから一生懸命掃除をしたり、校舎や物を大事にしたりする姿が増えてきた。

○保護者の変容

- ・ 特に引越しなど、学校の状況を理解し協力的。苦情減少。

○支援物資

- ・ 確かな学力育成室を中心に数々のお世話をいただき、環境が整備された。

○受入れ校からの協力

- ・ 900人規模の学校として、数々の温かい配慮、日に日に深まる絆

□教育課程の編成

- ・ 工事等見通しが立たない中での教育課程の編成及び見直しが必要

行事関連 特に運動会、学習発表会は、時間と場所の確保に苦慮

学習関連 特別教室を使用する、主に理科、家庭科、体育、図工等でカリキュラム入替え
児童の情報教育の環境は、仮設校舎完成後

□学習環境の整備

- ・ 引越し、それに伴う、環境整備の繰り返しに時間を費やし、通常の学習を行うのが困難

□放射能対策など「安全・安心」につながる学校対応

□教職員

- ・ 一時移転により、駐車場が不足し、通勤に苦慮
- ・ 将監小との往復が多い。
- ・ 震災関係の調査報告業務
- ・ これからも続く引越し
- ・ 職場環境の再整備

電話、web、職員室



ともに歩んだ教職員

平成23年度

早坂 公一	丹野 伸裕	石川 隆夫	伊崎 和子	相澤 昭子	村上智英子	菅原 美里
伊世 貴志	菅原 恭子	水間 玉恵	三浦 睦子	坪田 康宏	吉田 史	星野 功雅
(兵庫県教委より派遣)						
平塚 和男	佐藤 範昭	渡邊 芳子	村田 香織	小野枝理子	黒坂 光幸	河野 聡美
森 ふみ	千葉 元春	牛来 初美	高橋 浩記	川名 博江	小野寺恵美	今野 千紘
高橋 勉	沼澤 弘貴	木幡眞紀子	佐藤 進	石川 恵美(旧姓 須東)	伊藤 祐子	
太田 仁美	佐々木香織	渡邊美代子	正木 実希			
後藤 洋子	土岐 禎子	後藤恵理子	池田 維子			
赤間 峰子	志村 都	安江 和佳	萱森由美子			

平成22年度

大沼 芳浩	保科 文人	柳 弘子	田村 聡子
末 弘美	平山ちひろ	中田 幸子	



中央小視聴覚室をお借りしての職員室